

# 志す宇宙は無限 八月号

発行：楠隼高等学校 宇宙部

## 夏休み特集 宇宙を学べる大学紹介

夏休みは大学調べ等をする人も多いのではないのでしょうか。今回は宇宙を学べる大学をいくつかピックアップしてご紹介します。皆さんの志望校選択に活用してください。夏休みに鹿児島大学で開催された「宇宙を学べる大学」九州や各大学のHP、オープンキャンパスを参考にしています。詳しくは自分で調べることが大切です。

### ※気をつけよう「宇宙」といっても幅広い！

「宇宙を学べる大学に行きたい」と思い、「宇宙」というキーワードだけで安易に大学を選ぶのは危険。「宇宙」は天文学、航空工学、宇宙工学など様々な質問が絡んでいる。さらに宇宙工学も衛星開発からロケット開発まで多岐にわたる。また、「宇宙を学べる」と紹介している大学の中には物理学科の中に少し宇宙の要素が入っているだけのものもある。大学によって学べるものが全く異なることを頭に入れておいた方がよい。そして、自分は何が学びたいのか、宇宙のどの分野に携わりたいのか(衛星開発をしたいのか、ロケット開発をしたいのかなど)を明らかにしておくことが大学選びに役に立つ。

#### 鹿児島大学 理学部

国立鹿児島大学理学部では物理・宇宙プログラムが設けられており、天文学をメインに学ぶことができる。電波天文学、理論天文学、光赤外天文学を専門とする先生が約10名所属している。薩摩川内市入来には、学生が自由に使うことのできる光赤外線望遠鏡があり、研究のための道具も揃っているキャンパスは鹿児島市内にあり、生活しやすい環境であり、充実したキャンパスライフを過ごせる。県外からの学生も半数ほど在籍しており、県をまたいだつながりを作ることができそうだ。

#### 九州工業大学

国立九州工業大学では超小型衛星の開発・研究を行っている。学部生から衛星開発に携わることができる大学は多くなく、超小型衛星の開発は国内トップレベル。機械宇宙システムと電気宇宙システムの分野に分かれ、ハードウェアからソフトウェアをそれぞれ学ぶことができる。九州工業大学は、福岡県にキャンパスがあり都心に近いため便利である。地方を結ぶ新幹線や飛行機等もあり、行き来しやすいところもポイント。

#### 九州大学 工学部 航空宇宙工学科

国立九州大学では国内トップクラスの学生と共に研究することができる。キャンパスも比較的新しく、勉学に専念できる環境が整っている。1年次で工学に関する基礎を磨き、2年次の後期から各群、学科に分かれる。航空宇宙工学科は三群。衛星データやシミュレーションがメインで衛星開発そのものは盛んではない。

#### 佐賀大学 理工学部

国立佐賀大学では宇宙論を学ぶことができる。宇宙全体の成り立ちや進化を研究する。宇宙論を学ぶことのできる大学は少ない。宇宙の起源、進化の過程を専門的に学びたい人におすすめ。九州圏内かつ福岡県に近い県として、勉強と遊びを両立できそうな大学。

#### 東北大学 工学部 機械知能・航空工学科

国立東北大学は、「Times Higher Education (THE) : タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」が発表するTHE 日本大学ランキング2023で1位に選出されている。特に航空宇宙コースは人気があり、研究室配属のときには成績順であるため、成績上位を維持する必要があるようだ。東北大学は、入試形態がさまざま、AO入試枠が広いことも特色の一つ。仙台市の中心部にキャンパスがあり、キャンパスライフで困ることはほとんどない。

### やってみよう！身近な宇宙

『食べたことある？ 宇宙食』

宇宙飛行士が国際宇宙ステーション滞在中の食事は「宇宙食」として地上から届けられています。現在、日本の企業等により開発された宇宙食は52品目あります。例えば、「種子島産バナナとインギー地鶏のカレー」や「ひじき煮」、「北海道産牛肉とミニマトのハンバーグ」、「スペースうなぎ(うなぎの蒲焼)」など様々です。世界各国で様々な宇宙食が開発されており、宇宙飛行士は世界各国の食文化を楽しむきっかけになり、狭い空間でそれぞれの国籍の人たちとの食事は大きな楽しみの一つのようなのです。そのような宇宙食ですが、実は宇宙飛行士でなくても食べることができます。JAXA関連施設や科学館で販売されています。肝付町では観光拠点施設「宙の家」でも販売しています。

私もクッキーを食べてみました。口の中の水分がすべてクッキーに吸い取られる感じで独特な味でしたが、普段体感しないクッキーでとてもおいしかったです。

皆さんもぜひ宇宙飛行士になった気持ちで食べてみてください。口の中の水分が取れるものがあるので飲み物を持っていた方がよいですよ！



### 宇宙の声

今年も暑い夏がやってきました。充実した夏休みを過ごせているでしょうか。少しでも宇宙に触れることができたいでしょうか。まだ触れられていない人はこの新聞を読むことが宇宙に触れるきっかけになると幸いです。前号でも紹介しましたが、宇宙に触れることのできる機会はたくさんあります。詳しくは前号をご覧ください。

さて、今月号は、宇宙を学べる大学の特集にしました。私もオープンキャンパスに行ったり大学の情報収集をしたりしましたが、各大学学べるのがさまざまです。例えば、ある大学ではパンフレットには人工衛星のイラストが書いてあるにもかかわらず、実は人工衛星の研究はしていないことがあります。特に私立大学は学生を集めることに必死のためそのような手段を使うこともあるようです。だから、インターネットやパンフレットの情報だけで大学を選ぶのは極力避けるべきだと感じました。百聞は一見に如かずというように、やはり自らの目で見て、大学の雰囲気を感じることが大切です。大学に行つて自分の学びたいことが学べないことがないように丁寧に調べてみてください。

大学を見に行くことは、自分自身のモチベーションアップにもつながります。家族旅行のついでにキャンパス見学に行くのも良いかもしれません。

夏休みも残りわずかとなってきましたが、夏休みにしかできないことをたくさんして充実した夏にしてください。暑い日が続きますが、熱中症などお体には十分気をつけてお過ごしください。皆さんにとって充実した夏休みになりますように。

### 宇宙からのささやき

## 地球も、私たち自身もやっぱり宇宙の一部でした。

山崎直子

2001年、宇宙飛行士として認定。2010年、スペースシャトル「ディスカバリー号」によるSTS-131ミッションのMSとして参加。ISS第22次/第23次長期滞在クルーとして長期滞在中の野口聡一宇宙飛行士とともに、日本人宇宙飛行士が初めて軌道に2人同時滞在し、様々な共同作業を実施した。

### 祝 1周年記念！

昨年8月より刊行を始め、創刊号から早くも1年が経ちました。あっという間の一年間でした。皆さんに宇宙のすばらしさ、面白さだけでなく、楠隼宇宙部の魅力をお伝えでき本当に良かったです。宇宙に興味が出てきたという方がたくさんになり、今後の楠隼宇宙部、鹿児島宇宙産業と一緒に盛り上げていきたいと思ひます。今後ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

楠隼高等学校 宇宙部